

今治市子ども・子育て会議

令和4年度 第1回 未来子育て部会

会議次第

日時 令和4年11月16日(水)

14時00分から15時30分(予定)

場所 今治市役所 第1別館10階 101会議室

1 開会

2 議題

○部会長の選任について

○今治版ネウボラ「未来子育て支援機構」(仮称)の創設計画の進捗状況

○今治版ネウボラ拠点施設整備の基本構想について

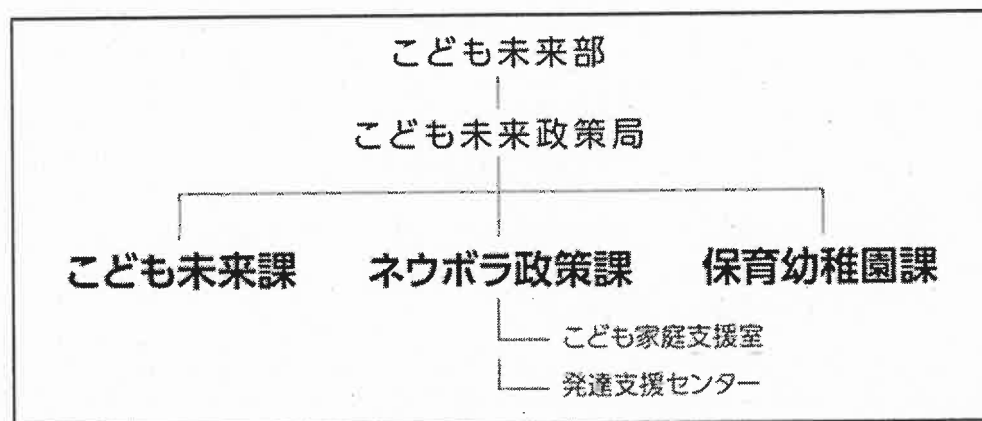
3 その他

4 閉会

今治版ネウボラ「未来子育て支援機構」（仮称）の創設計画の進捗状況

1 「今治版ネウボラ」のスタートに伴う相談・支援体制の状況

(1) こども未来部の組織体制



健康福祉部から子ども・子育て支援部門が独立し、3課体制による「こども未来部」を創設。
ネウボラ政策課に、以下の相談窓口機能を集約。

- ◎子ども家庭総合支援拠点
 - ◎子育て世代包括支援センター
 - ◎発達支援センター
- } こども家庭支援室

(2) こども家庭支援室の設置

虐待、貧困支援、就学後の壁や不登校、子育て家庭の諸問題については、子育て支援課の子ども家庭相談室において、関係機関と連携を図りながらこれまで対応してきた。

令和4年度の組織改正により、ネウボラ政策課に、①子ども家庭相談室に相談員等を増員した子ども家庭総合支援拠点と、②子育て世代包括支援センターを健康推進課から移管し、「こども家庭支援室」として新設。より妊娠期から就学18歳までの子どもたちとその家族に
対し切れ目なく支援するための体制をスタートさせた。

これにより、例えば、虐待リスクの高い特定妊婦等への支援については、情報が瞬時に把握でき、個別ケースの対応についても、虐待担当と包括支援担当の保健師が協議しながら、状況に応じ同行して訪問するなど、連携した支援ができるようになっている。

①子ども家庭総合支援拠点

・取組内容

児童虐待防止、ヤングケアラー対策、家庭児童相談、婦人相談、母子父子相談、母子生活支援施設、ひとり親世帯の福祉に関すること

・要保護児童対策地域協議会構成メンバー

今治市医師会、今治警察署、松山地方法務局今治支局、愛媛県中央児童相談所、民生児童委員協議会、私立幼稚園協会、今治市・上島町保育協議会、児童養護施設、今治市教育委員会、こども未来部

②子育て世代包括支援センター

・取組内容

妊産婦の妊娠・出産・育児の悩みや不安、子どもの成長に関すること、母子健康手帳の交付、各種事業利用のセルフプラン作成、プレママひろば、産後ケア事業、産後ママと赤ちゃんのつどい など

【こども家庭支援室の体制】

機能別	人員	備考
●子ども家庭総合支援拠点		
・こども家庭相談室長	1	
・こども家庭相談室長補佐（保健師）	1	
・子ども家庭支援員（会計年度（教員OB））	2	★1名増員
・虐待対応専門員（保健師②、保育士①）	3	★1名増員
・婦人相談員（会計年度）	1	
・母子父子自立支援員（会計年度）	1	
・＜新設＞ヤングケアラーコーディネーター（会計年度（教員OB））	1	★1名新設増員
機能別小計	10	
●子育て世代包括支援センター		
・保健師	2	
・助産師（会計年度）	1	
機能別小計	3	
こども家庭支援室合計	13	

(3) 発達支援センターの集約

障がい福祉課から機能移管。

①取組内容

心身の発達に関する悩みや不安に関すること

相談業務（来所相談、訪問相談、巡回相談、電話相談）、発達検査の実施、保護者交流会、
中学校・高等学校等コーディネーター合同研修会、普及啓発活動（講演会等）、
ペアレントメンター事業 など

②発達支援センター（発達支援係）の体制

所長：1名、保育士：1名、保健師：1名、相談員：3名

※WISC-IV等の発達検査の実施に対応するため、臨床心理士・臨床発達心理士資格などを
持つ職員も配置している。

2 就学までの切れ目ない母子保健等の支援体制（伴走支援）

(1) 産後ママと赤ちゃんのつどい

産後の孤立感や育児不安の解消のための新たな取組として、本年5月から毎月開催している。

①対象

生後1～4か月未満の乳児とその保護者（1開催あたり10組程度）

②内容

同じ月齢の子どもを持つ親同士で交流しながら、助産師や保健師などの多職種による個別相談やオーダーメイドのセルフプラン作成などを行っている。

(2) 5歳児健康相談の検討

入学後、問題につまづくことが多い発達支援の必要な児童へのフォローのための新たな取組として、関係機関で課題、必要性、効果等を議論・整理しながら検討を進めている。

①検討チーム構成

健康推進課（保健センター）、学校教育課、ネウボラ政策課（発達支援センター）の実務担当者
※現場の声を反映するため、公立私立の保育所・幼稚園からも数名参加。

②取組の方向性

詳細は資料2「5歳児健康相談（仮称）実施に向けた今後の方向性について（案）」のとおり。

取組の核となる「発達障がい問診アンケート（仮）」の客観的な結果に基づき、その後の支援を進める方向で検討しているが、人員の配置、保育・幼児教育現場の理解と協力、これまで実施してきた関係機関での支援の見直しなど様々な課題があり、今後においては一部を試行的に実施しながら、取組体制を構築する。

3 その他（参考）

令和4年度から新規・拡充し実施する子育て支援事業については、資料3のとおり。

5歳児健康相談（仮称）実施に向けた今後の方向性について（案）

資料2

今治市の現状と課題

- ・ 3歳児健診後に発達の遅れを捉える体制が未整備であった。
- ・ 教育相談に該当する案件でない子ども達（いわゆるグレー領域）の発達の偏りを的確に捉えるための手段がなかった。
- ・ 偏りに関する情報の引継ぎができていなかった。
- ・ 保護者がわが子の就学後に見通しを持ち、子育ての不安を軽減できるような相談の場が少なかった。
- ・ 支援する側は、子どもの特性の理解に時間を要するばかりでなく、保護者に伝えることへのためらいがあった。

必要性

子どもの発達の現状を的確に得て、偏りを適切に把握できる手段と保護者への相談の場があれば、その情報を引き継いだり共有したりが可能で適切な支援を素早く行えるし、保護者も前向きな子育てができる。

発達障がい問診アンケート （仮）によるリスク児抽出

保護者

保護者自身が問診に回答し、子どもを担当する保育者にも保護者経由で回答を依頼する

保育現場

対象児を5歳児相談に案内

5歳児相談

（保健センター、発達支援センター、教育等）

相談後フォロー

- ・ 療育、医療機関、教育相談へつなげる
- ・ 保育所幼稚園での継続支援
- ・ 発達支援センターでの巡回相談
- ・ 保健センターでの保護者支援・子育て相談

システムと5歳児相談導入で期待される効果

発達の偏りを的確に把握し、児童に合った適切な療育につなげることができる。

⇒子どもは最大限に伸びる力を発揮できる。

高い確率でリスク児を抽出できる。

⇒これまで就学後や進級するにつれて判明していた、何らかの支援が必要という子の情報を、就学前の段階で把握できる。

⇒子ども、保護者ともに、就学という大きな環境の変化への戸惑いや不安軽減につながる。

保護者が抱えてきた、わが子に対する様々な疑問や不安を明確に示している。

⇒5歳児相談スタッフと保護者が共通認識のもと、今後の子育ての方向性を考え合える。

子どもへの誤った認識が早期に払拭される。

⇒正しい対応がどの機関でも一貫して行われることで、偏りをカバーしながら自分の良さを活かしていく自尊心を持った子どもを育むことができる。

⇒将来の学習や就労の意欲につながる。

専門知識のない保護者にも分かり易く示された「個人結果票」により、保護者は結果を受け入れやすく、隠せず医療機関や専門機関につながりやすい。

こどもが真ん中の視点で取り組む切れ目のない子育て支援
～R4年度新規・拡充事業～

今治版ネウボラの体制整備

○子ども家庭総合支援拠点の設置

ネウボラ政策課内に「こども家庭支援室」として設置。保健師、保育士、家庭児童相談員、婦人相談員、母子父子自立支援員、子ども家庭支援員、ヤングケアラーコーディネーターなどの専門職員を配置し、子育て家庭のさまざまな問題に総合的に対応する。

母子保健事業

○産後ママと赤ちゃんのつどい (R4.5より毎月1回開催)

生後1～4か月未満の乳児とその保護者を対象に、産婦同士の交流と専門職（助産師・保健師）による個別相談、サポートプランの作成を行い、不安や孤立の解消を図る。

○産婦健康診査

○今治市不妊治療費助成事業

令和4年度から保険適用となった不妊治療（一般不妊治療・生殖補助医療）に係る一部負担金（保険適用部分）を助成する。

○パパママ学級 (年4回)

妊婦とそのパートナーを対象に、講話・実習（沐浴、妊婦体験）を通して妊娠や出産に関する知識を深めていただくとともに、参加者同士の交流、仲間づくりを支援する。

○3歳児健康診査における視覚スクリーニング屈折検査の導入

予防接種

○子どもを守るインフルエンザ予防接種助成の対象年齢の拡充

○子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種及び過去に自己負担した接種費用の払い戻し

経済的負担の軽減

○しまなみの子どもを育む交通費支援事業

妊産婦・乳児健診、産後ケア事業、小児救急医療に加えて、妊娠期から産後1か月までの母子の受診、不妊症などにおける受診、市で実施する母子保健事業利用を助成対象に拡充した。

また18歳以下の子どもがいる世帯に交通費の1/2程度（上限1万円）の助成も開始した。

○小中学校、保育園、認定こども園、幼稚園などの給食費支援

コロナ禍や社会情勢の影響を受けて食材費が高騰する中で、これ以上保護者の負担を増やすことなく、安全でおいしい給食を子どもたちに食べてもらうように給食費を支援するもの。

居場所づくり

○公民館・児童館等に Wi-Fi 整備

県の事業で、アンテナを立てる場所を調査中。今年度中に順次実施。(市内 100 か所)

○子ども食堂開設への運営支援

子ども食堂をしている団体への運営資金や、新規に行う団体への開設・運営資金の支援により、子どもの放課後の居場所づくりの強化に努めている。

遊び場の整備

○公園遊具の改修

今ある大きな遊具のリニューアルに向けて、令和 4 年度は全体調査、令和 5 年度に具体的な実施計画を作成し、令和 6 年度から順次改修予定。(都市公園 90 その他 90)

○トイレの洋式化

令和 3 年度に 7 棟、今年度はトイレ自体の改築を含め、13 棟の洋式化を実施予定。

保育・教育

○保育所などにおける ICT 化

○オンライン学習環境整備のモデル事業

○小中学生の家庭でのオンライン学習環境整備

オンライン学習の全中学校への導入に向けた実証研究を行う。

対象校：桜井中学校・朝倉中学校・大島中学校 144 人 令和 5 年度以降全学校に拡大予定。

○特別支援学級のサポート体制強化

特別支援学級に配置する児童生徒の介助や学習活動のサポートを行う学校生活支員を増員し、障がい等のある児童生徒の支援体制の充実を図る。

R3 年度：38 人→R4 年度：49 人→R6 年度：約 80 人（予定）

○日本一おいしい給食

昨年度の中華・フレンチ・イタリアンと更に和食の 4 人のプロがメニュー開発。プロの 4 食とアマチュアの 4 食の 8 メニューを「日本一おいしい給食期間」11 月下旬から連続 8 日間提供。

情報発信

○いまばり子育て応援ナビ（アプリ）から予約機能

○広報、フリーペーパー

イベント

○こどもが真ん中フェスタ（11/13(日)開催）

今治版ネウボラ拠点施設整備の基本構想について

1 施設のコンセプト

(1) 基本理念

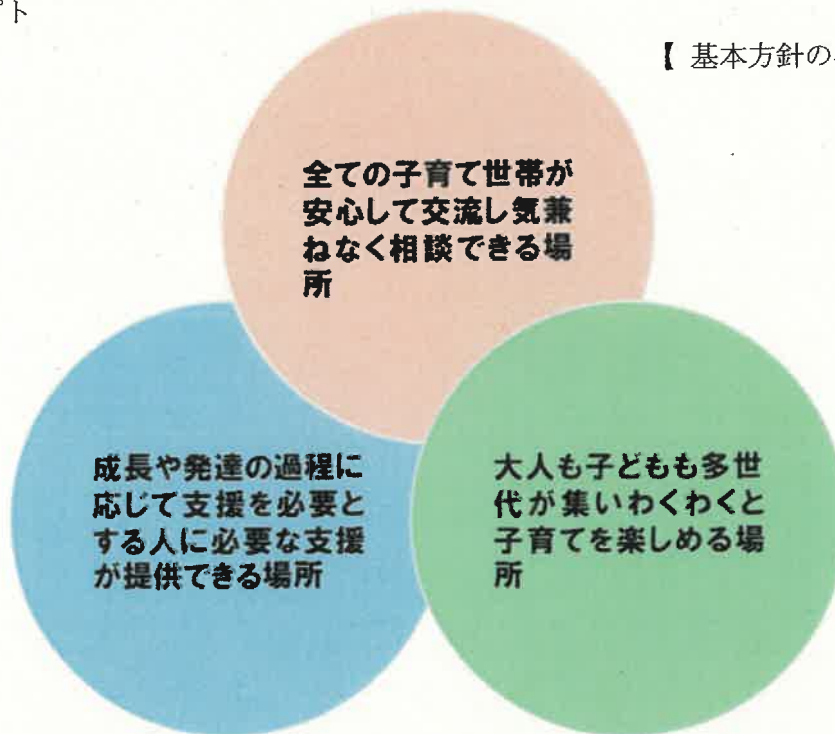
すべての子育て世帯に寄り添い、切れ目のないきめ細かなワンストップでの総合的な支援を行う

(2) 基本方針

- ・ 0歳から18歳までの切れ目ない支援
- ・ 市内各所に点在する子育て関連施設の集約
- ・ 気兼ねなく相談できる場の創出
- ・ 大人も子どももわくわく楽しめる魅力の創出

(3) コンセプト

【 基本方針のイメージ 】

2 施設の位置づけ

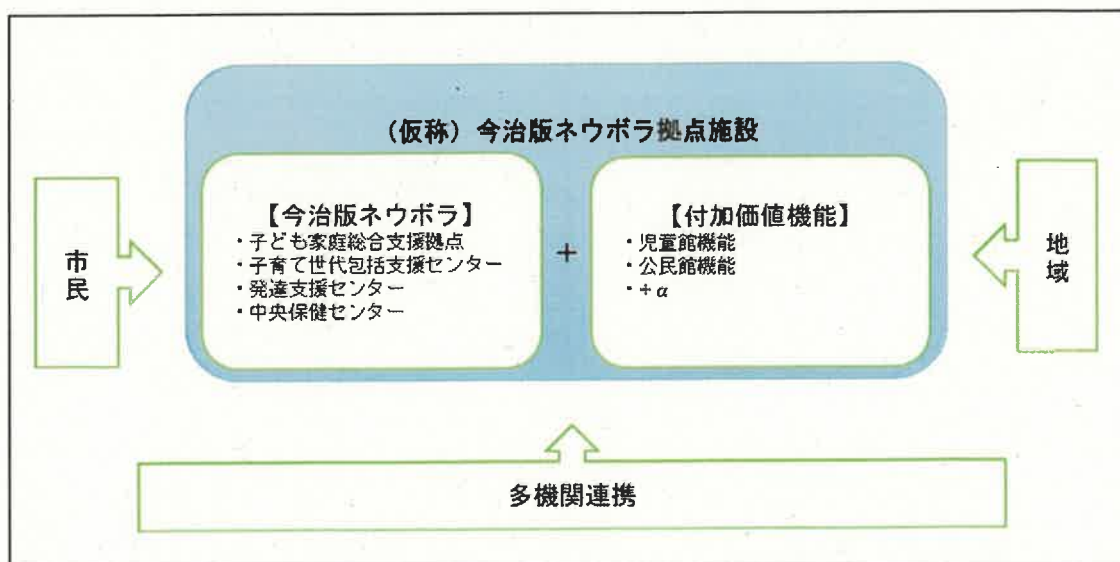
市域の広さをカバーする子育て支援体制を構築するために、相談及び情報発信のサテライトのみならず、公園なども遊び場サテライトとして充実させ、市全体で子どもが真ん中の子育て世代に寄り添った環境づくりを進めることとし、その中核を担う拠点として位置付ける。



3 施設整備の方向性（施設の集約・複合化）

(1) 施設整備のイメージ

市内各所に点在する「こども家庭総合支援拠点」や「中央保健センター」などの行政機能や、「ぱりっこ広場」などの地域子育て支援拠点事業所、「いまばりファミリー・サポート・センター」や保育所・幼稚園における一時預かりなど各種の子育てを支援する施設や拠点を集約して様々な相談にワンストップで対応するとともに、地域ぐるみで子どもを育てる機運を醸成するために、地域の人や団体、企業など多様な主体が交流できるように、児童館など子育て関連施設や中央公民館など公共施設との複合化も視野に検討する。



(2) 整備場所

市内各所に点在する子育て関連施設や公共施設との複合施設として移転集約する観点から、本庁等関連機関との機能連携や、市域全体から日常的にアクセスが容易であることを考慮する必要がある。

そのため、都市機能の集約・最適配置により持続可能な都市経営を目指すコンパクト・プラス・ネットワークの観点から、中心市街地の再生に向けた基礎調査を踏まえ、市内中心部において適地を選定します。

(3) 付加価値機能の検討

昨年度より基本構想案作成のための庁内プロジェクトチーム等を立ち上げるなど、施設整備に向けた調査研究してきた。

今年度のプロジェクトチームでは、整備する機能へ付加する内容について、先進事例などを調査しながら、提案に向けた議論を進めている。

4 整備する主な機能

(1) 子育て世代活動支援センター

子育て関係の相談支援機能を集約し、子どもの成長や発達の過程に応じた様々な悩みに対して、家庭に寄り添った伴走型支援を行う。

【想定する機能】

こども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センター、発達支援センター、地域子育て支援拠点、ファミリーサポートセンター、一時預かり

(2) 中央保健センター

健康相談、保健指導、健康診査などを行う。

(3) 児童センター

児童福祉法に規程する、児童への健全な遊びや健康増進を目的とした屋内型の児童厚生施設

(4) 地域交流センター

生涯学習事業だけでなく、多くの方が集い利用することで、世代を越えた新たな交流を生み出す地域拠点

5 市民意見・ニーズの収集及び整備計画への反映

(1) こどもが真ん中親会議 (9～10 月)

子育てサークル代表や妊婦、子育て中の父母から意見を聞く、市長との座談会。
旧市部、陸地部、島しょ部の 3 か所において開催。

(2) WEB アンケート (10 月)

①子育て世代向け

付加価値機能（遊び場など）を中心に収集。

- ・保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、拠点事業所（ぼりっこ広場等）、児童館
- ・市公式LINE、子育て支援アプリ

②中高生向け

基本方針「0 歳から 18 歳までの切れ目ない支援」への対応として、中高生年代も放課後や休日の利用する施設機能の検討材料として実施。

③アンケート結果

資料 5－1、資料 5－2 のとおり。

7 今後の検討スケジュール

(1) 12 月議会教育厚生委員協議会

(2) PFI 導入可能性調査・サウンディング調査

(3) 庁内プロジェクトチーム先進事例調査

(4) 子ども・子育て会議

- ①第 2 回部会
- ②本会議
- ③計画答申

(5) パブリック・コメント

【子育て世代向けアンケート】

今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備構想に関するアンケート
～だれでも気兼ねなく集まることのできる場所に～

今治市役所ネウボラ政策課

本市では、「女性が輝く、子どもが輝くやさしいまち“今治”」のために、こどもが真ん中の子育て支援を包括的に行うことを目指し、妊娠期から18歳までの子どもがいるすべての家庭の相談、情報発信、手続きなどがワンストップとなる子育て支援の体制、今治版ネウボラの取組がスタートしたところです。

◎ネウボラとは

フィンランド語で「アドバイスの場所、相談の場所」という意味。(neuvola)
フィンランドでは、かかりつけ保健師を中心に、妊娠期から就学前までの子どもがいるすべての家庭を切れ目なくサポートしており、そうした支援制度や支援拠点のことを指します。

将来的には、この「今治版ネウボラ」の更なる推進を図るため、本市の相談・情報発信・支援などの機能を集約することはもちろんのこと、子育て世代の誰もが気軽に訪れ、子どもも大人も安心して遊び、学び、そして交流したり、くつろいだりできる場所といった付加価値機能も併せ持つ、今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備について検討しているところです。



illustration by Kohei Ashino



(施設イメージ・東京都渋谷区「C0 しぶや」)

そこで、子育て世代の皆さん、以下について教えてください。(⇒次のページへ)

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

1. 旧市部
2. 陸地部 (朝倉・玉川・波方・大西・菊間)
3. 島しょ部 (吉海・宮窪・伯方・上浦・大三島・関前)

1. 未就学児 (0~2 歳) 2. 未就学児 (3~4 歳) 3. 未就学児 (5~6 歳)
4. 小学校 (1~3 年) 5. 小学校 (4~6 年) 6. 中学生
7. 16~18 歳 (高校年代) 8. 19 歳以上 9. 妊娠中

1. 遊び場 2. おもちゃ 3. 絵本 4. イベント 5. 親子で
6. 交流 7. 気軽 8. 天候（雨の日、暑い日） 9. 飲食
10. 学び・自習・勉強 11. 相談 12. 一時的に預ける
13. その他（ ）

(⇒次のページへ)

施設の付加価値機能として想定される、以下の各機能・サービスについて、皆さんの考えを教えてください。

問5 子育て広場として必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

(※ぱりっこ広場などの未就園の乳幼児と保護者の遊び場)

- ・ のびのびと過ごせる『もっと広いスペース』
- ・ 知育玩具などの『おもちゃの充実』
- ・ 小さい子でも楽しめる『体を動かせる遊具の充実』
- ・ 水遊びや砂遊びなどの『外遊びもできるテラス』
- ・ 図書館のような『絵本や子ども向けの本が充実』
- ・ わかりやすくスムーズに『子育てに関する必要な情報を得られる』仕組み
- ・ 利用年齢の拡充と小さい子が安全に遊べる仕組み（長期休みに利用できない）
- ・ 買い物などの用事で『短時間の一時預かり』をしてくれるサービスがある
- ・ 保護者同士が子どもを見守りながらお茶もできる『交流スペース』
- ・ ちょっとしたことでも、『周りに聞かれずに相談できるブース』がある
- ・ プライバシーに配慮された『トイレや授乳室』

【自由意見】

[]

問6 屋内の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・ 天候に左右されず思いきり遊べる『屋内大型遊具』（ジャングルジムなど）
- ・ 雨の日でも楽しめる『屋内砂場』（屋外より清潔に維持できる）
- ・ めくもりや癒しを感じ楽しめる『木のおもちゃ、遊具』
- ・ ボードゲームの貸出やeゲームスペースなど『様々な遊びが楽しめる場所』
- ・ 体を動かせる『アスレチック系の施設』（トランポリン、ボルダリング等）
- ・ 屋内スポーツを楽しめる『体育スペース』
- ・ 驚きや学びを体験する『デジタル要素を盛り込んだアトラクション』
- ・ 地場産業テーマや地元出身アーティストデザインの『今治らしいシンボリックな遊具』

- ・障がいのある子どもやその家族で遊べる『専用のスペースや遊具』
- ・機械展示やデジタルを活用した『地場産業を知る、親しむ場所』
- ・子ども参加でデザインや地場産の瓦で装飾するなど『地域みんなで作る場所』
- ・親子コンサートなど、幼児期から音楽やアートに触れられる『文化ホール』
- ・思い思いの空間（小さな家のような空間や隠れて遊べる狭い場所など）
- ・乳幼児（0歳～3歳まで）の専用スペース（大きい子と一緒にでは危ない）

【自由意見】

[]

問7 屋外の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・思いきり遊べる『大型複合遊具』
- ・体を動かせる遊具（トランポリン、ボルダリング等）
- ・施設を回る『トリムコース』
- ・地場産業テーマや地元出身アーティストデザインの『今治らしいシンボリックな遊具』
- ・乳幼児（0歳～3歳まで）の専用スペース（大きい子と一緒にでは危ない）
- ・障がいのある子どもやその家族で遊べる『専用のスペースや遊具』
- ・生き物に触れられる場所（動物の飼育スペースなど）
- ・ストリート系の遊び場（スケボーパークやバスケットゴールなど）
- ・小さい子どもも安心して『水遊びができる場所』（小川や噴水）
- ・乗物体験コース（ストライダー、電動自動車、電動バギーなど）
- ・雨が降っても大丈夫な『全天候型の大屋根』
- ・マルシェや屋台が設置できるスペース
- ・子ども参加でデザインや地場産の瓦で装飾するなど『地域みんなで作る場所』
- ・収穫体験ができる畑
- ・自然を感じることができる『屋上庭園』
- ・今治市内を見渡すことができる『屋上展望台』
- ・安全に散歩ができる『屋上トリムコース』

【自由意見】

[]

問8 今治版ネウボラは妊娠から18歳の子どものいる家庭まで、切れ目なく支援しようとする取組です。施設には、子育て世代の親子が過ごせるだけでなく、中高生なども気楽に訪れる、多目的な場所（居場所）についても必要と考えています。イメージに近いもの、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・ 絵具や画用紙などが揃った夏休みの宿題ができる工作室
- ・ 親子で料理が楽しめる調理室
- ・ ダンススタジオ（練習ができる大きな鏡のある部屋）
- ・ 音楽スタジオ（楽器の練習ができる防音機能）
- ・ 工具が借りられるDIYルーム（親子でワークショップ）
- ・ 動画編集や3Dプリンターなどデジタル環境がある作業室
- ・ 静かに勉強できる自習室
- ・ 友達としゃべりながら過ごせるフリースペース
- ・ 親子、グループで区分利用できる貸しスペース
- ・ ごろ寝、お昼寝できるリラックススペース

【自由意見】

問9 憩い・交流の場として飲食（カフェ）スペースを考えています。必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・ 持ち込み可能なイートインスペース（食事の提供までは不要）
- ・ 離乳食や紙おむつなども購入できる自動販売機で軽食を提供
- ・ お昼を過ごせる子ども向けの食事も提供するカフェ（イートイン・テイクアウト）
- ・ 地産地消や学校給食メニューのあるカフェ（地域のことも知れる場所）
- ・ マルシェ（地元の野菜、パン、総菜など販売スペース）のようなものが併設
- ・ フードコートのように、色々な選択肢がある
- ・ 周りの目を気にせず、子どもとゆっくり食事ができる
- ・ 目の届く範囲に子どもの遊び場があり、保護者が飲食しながらゆっくりできる
- ・ 夕方にも営業され子どもに無料で食事が提供される（こども食堂）
- ・ 屋外（軒下スペース）で飲食できる
- ・ 中高生の居場所として飲食ができるスペース

【その他、ご意見等がありましたら記入してください。】



★★ 回答にご協力いただき、ありがとうございました ★★

今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備構想に関するアンケート 集計 【回答数 664】

Q1 ご回答いただいている方はどなたですか。（必須）

母親	593
父親	61
その他	10

その他：祖母2，叔母2，祖父母1，施設職員1，小さい子はいないが関心がある1
未入力3

Q2 お住まいの校区（中学校区）を教えてください。（必須）

旧市部	536
陸地部（朝倉・玉川・波方・大西・菊間）	86
島しょ部（吉海・宮窪・伯方・上浦・大三島・関前）	42

Q3 お子さんの年齢を教えてください。

2人以上いる場合は該当するものをすべて選んでください。（必須）（複数可）

未就学児（0～2歳）	253
未就学児（3～4歳）	195
未就学児（5～6歳）	154
小学校（1～3年）	221
小学校（4～6年）	155
中学生	89
16～18歳（高校年代）	49
19歳以上	30
妊娠中	15

Q4 子育て支援施設に希望する機能やサービスについて、
思い浮かべるキーワードを3つ選んでください。（必須）

遊び場	463
おもちゃ	60
絵本	41
イベント	189
親子で	130
交流	133
気軽	170
全天候（雨や暑い日など）	228
飲食	53
学び・自習・勉強	195
相談	157
一時的に預ける	161
その他	12

Q5 子育て広場として必要と考える項目を以下より2つ選んでください。(必須)

のびのびと過ごせる『もっと広いスペース』	156
知育玩具などの『おもちゃの充実』	64
小さい子でも楽しめる『体を動かせる遊具の充実』	226
水遊びや砂遊びなどの『外遊びもできるテラス』	184
図書館のような『絵本や子ども向けの本が充実』	48
わかりやすくスムーズに『子育てに関する必要な情報を得られる』仕組み	103
利用年齢の拡充と小さい子が安全に遊べる仕組み(長期休みに利用できない)	131
買い物などの用事で『短時間の一時預かり』をしてくれるサービスがある	142
保護者同士が子どもを見守りながらお茶もできる『交流スペース』	131
ちょっとしたことで、『周りに聞かれずに相談できるブース』がある	92
プライバシーに配慮された『トイレや授乳室』	51

Q6 屋内の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。(必須)

天候に左右されず思いきり遊べる『屋内大型遊具』(ジャングルジムなど)	351
雨の日でも楽しめる『屋内砂場』(屋外より清潔に維持できる)	77
ぬくもりや癒しを感じ楽しめる『木のおもちゃ、遊具』	100
ボードゲームの貸出やeゲームスペースなど『様々な遊びが楽しめる場所』	32
体を動かせる『アスレチック系の施設』(トランポリン、ボルダリング等)	264
屋内スポーツを楽しめる『体育スペース』	75
驚きや学びを体験できる『デジタル要素を盛り込んだアトラクション』	65
地場産業テーマや地元出身アーティストデザインの『今治らしいシンボリックな遊具』	20
障がいのある子どもやその家族で遊べる『専用のスペースや遊具』	65
機械展示やデジタルを活用した『地場産業を知る、親しむ場所』	7
子ども参加でデザインや地場産の瓦で装飾するなど『地域のみんなで作る場所』	20
親子コンサートなど、幼児期から音楽やアートに触れられる『文化ホール』	69
思い思いの空間(小さな家のような空間や隠れて遊べる狭い場所など)	36
乳幼児(0歳~3歳まで)の専用スペース(大きい子と一緒にでは危ない)	147

Q7 屋外の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

(必須)

思いきり遊べる『大型複合遊具』	257
体を動かせる遊具（トランポリン、ボルダリング等）	125
施設を回る『トリムコース』	54
地場産業テーマや地元出身アーティストデザインの『今治らしいシンボリックな遊具』	15
乳幼児（0歳～3歳まで）の専用スペース（大きい子と一緒にでは危ない）	151
障がいのある子どもやその家族で遊べる『専用のスペースや遊具』	38
生き物に触れられる場所（動物の飼育スペースなど）	119
ストリート系の遊び場（スケボーパークやバスケットゴールなど）	39
小さい子どもも安心して『水遊びができる場所』（小川や噴水）	154
乗物体験コース（ストライダー、電動自動車、電動バギーなど）	51
雨が降っても大丈夫な『全天候型の大屋根』	152
マルシェや屋台が設置できるスペース	21
子ども参加でデザインや地場産の瓦で装飾するなど『地域の人々で作る場所』	9
収穫体験ができる畑	60
自然を感じることができる『屋上庭園』	31
今治市内を見渡すことができる『屋上展望台』	14
安全に散歩ができる『屋上トリムコース』	38

Q8 今治版ネウボラは妊娠から18歳の子どもがいる家庭まで、切れ目なく支援しようとする取組で施設には、子育て世代の親子が過ごせるだけでなく、中高生なども気楽に訪れる、多目的な場所（居場所）についても必要と考えています。

イメージに近いもの、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）

絵具や画用紙などが揃った夏休みの宿題ができる工作室	221
親子で料理が楽しめる調理室	105
ダンススタジオ（練習ができる大きな鏡のある部屋）	68
音楽スタジオ（楽器の練習ができる防音機能）	70
工具が借りられるDIYルーム（親子でワークショップ）	156
動画編集や3Dプリンターなどデジタル環境がある作業室	95
静かに勉強できる自習室	167
友達としゃべりながら過ごせるフリースペース	205
親子、グループで区分利用できる貸しスペース	173
ごろ寝、お昼寝できるリラックススペース	68

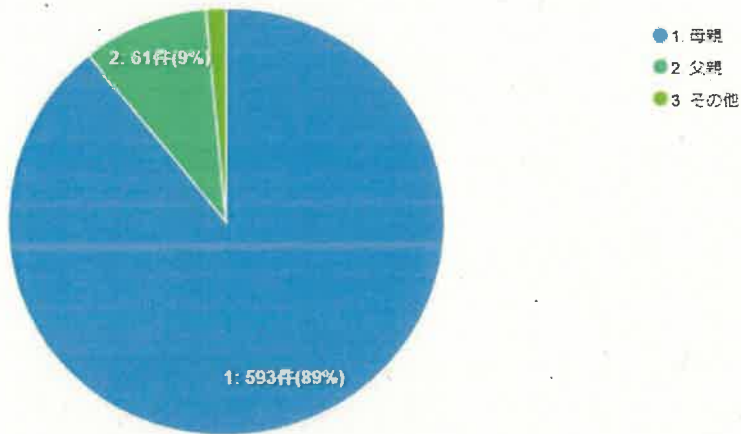
Q9 憩い・交流の場として飲食（カフェ）スペースを考えています。

必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）

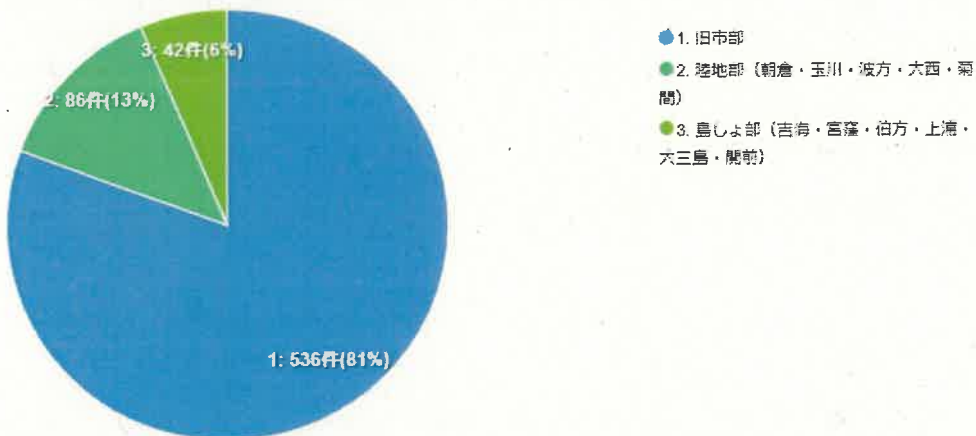
持ち込み可能なイートインスペース（食事の提供までは不要）	222
離乳食や紙おむつなども購入できる自動販売機で軽食を提供	76
お昼を過ごせる子ども向けの食事も提供するカフェ（イートイン・テイクアウト）	209
地産地消や学校給食メニューのあるカフェ（地域のことも知れる場所）	135
マルシェ（地元の野菜、パン、総菜など販売スペース）のようなものが併設	133
フードコートのように、色々な選択肢がある	70
周りの目を気にせず、子どもとゆっくり食事ができる	118
目の届く範囲に子どもの遊び場があり、保護者が飲食しながらゆっくりできる	210
夕方にも営業され子どもに無料で食事が提供される（こども食堂）	65
屋外（軒下スペース）で飲食できる	26
中高生の居場所として飲食ができるスペース	64

今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備構想に関するアンケート 集計 【回答数 664】

Q1 ご回答いただいている方はどなたですか。(必須) ☑

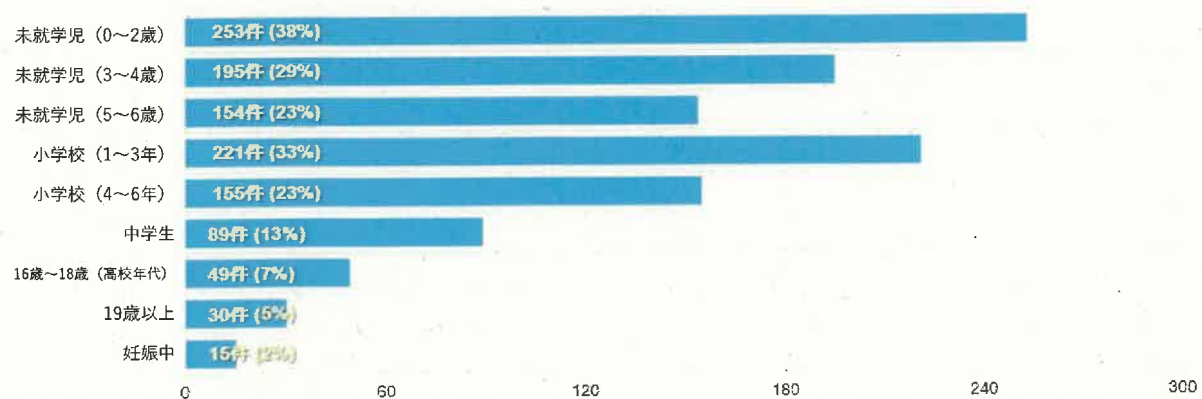


Q2 お住まいの校区（中学校区）を教えてください。(必須) ☑

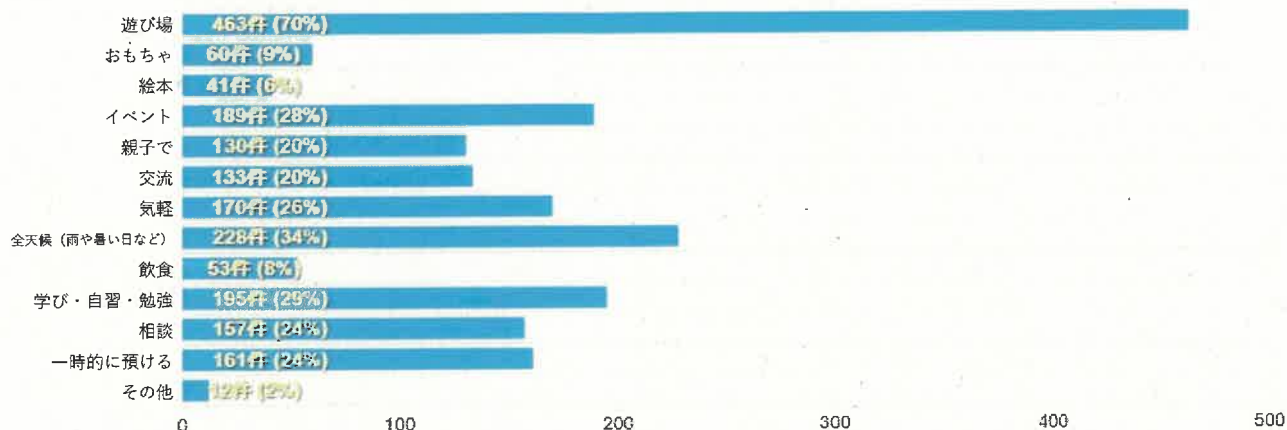


Q3 お子さんの年齢を教えてください。

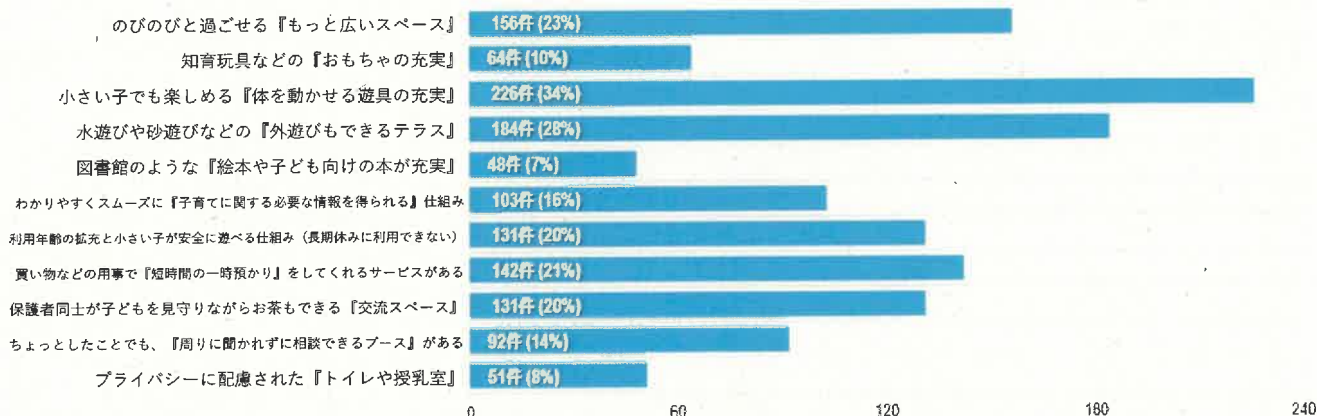
2人以上いる場合は該当するものをすべて選んでください。(必須) (複数可)



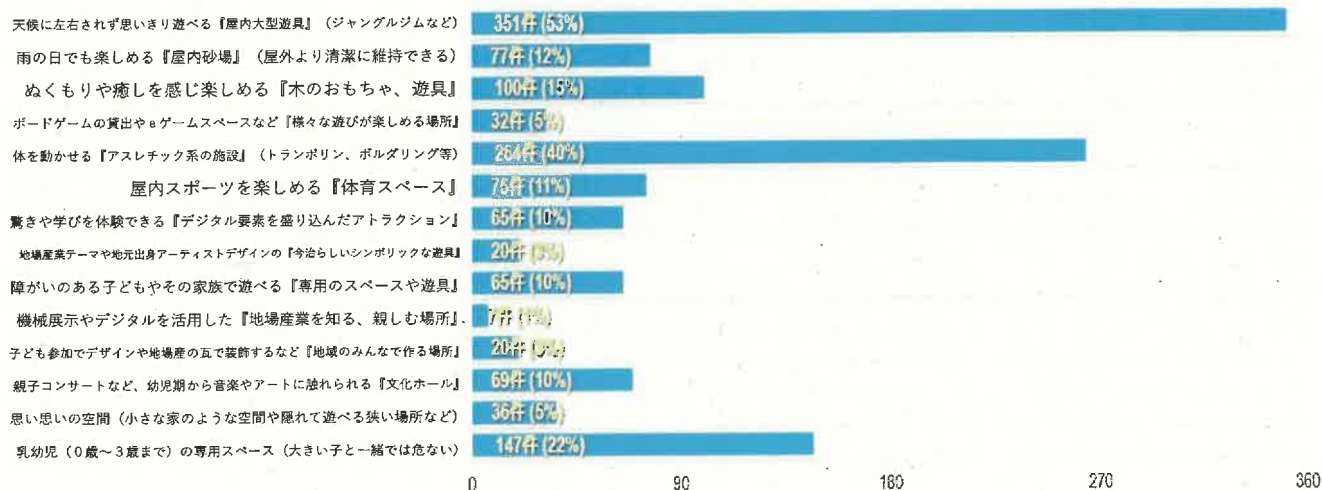
Q4 子育て支援施設に希望する機能やサービスについて、
思い浮かべるキーワードを3つ選んでください。（必須）



Q5 子育て広場として必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）



Q6 屋内の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）



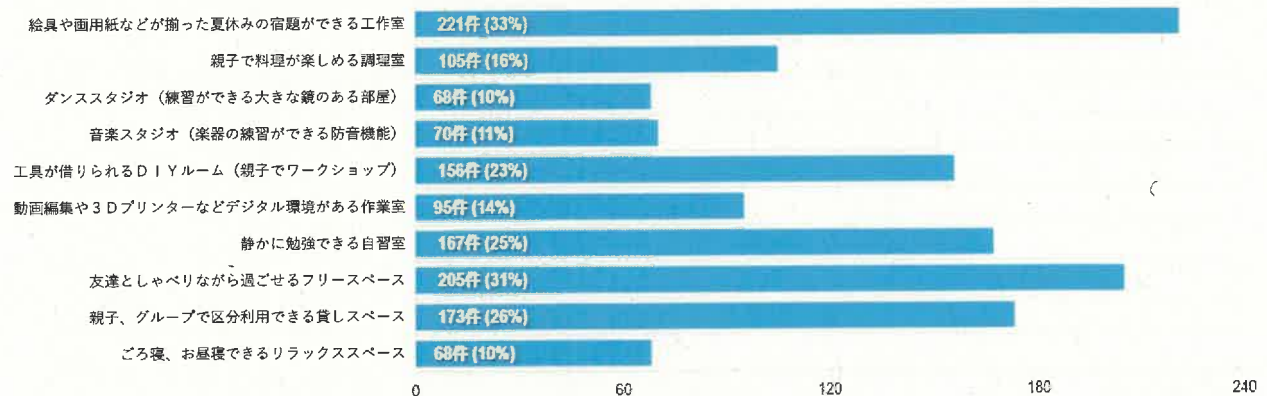
Q7 屋外の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）



Q8 今治版ネウボラは妊娠から18歳の子どものいる家庭まで、切れ目なく支援しようとする取組です。

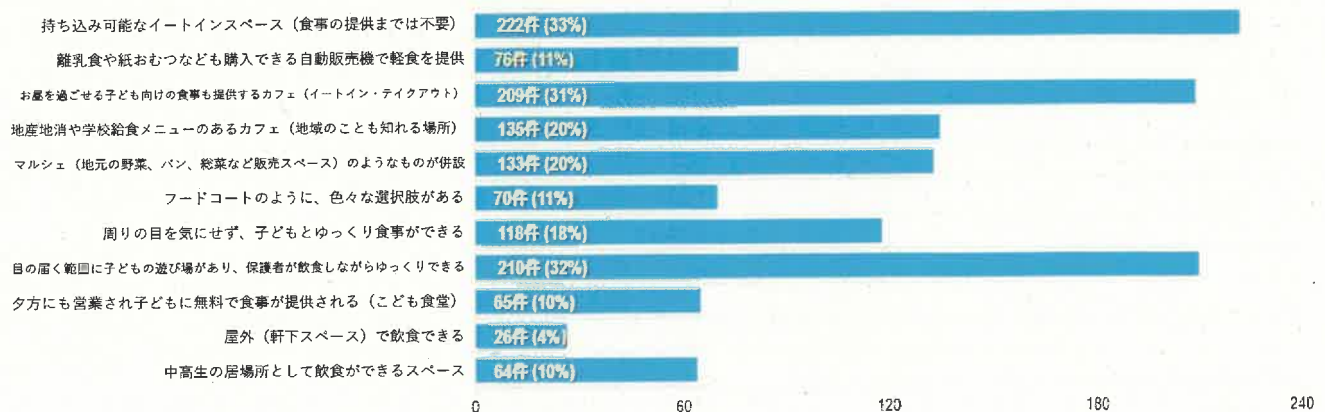
施設には、子育て世代の親子が過ごせるだけでなく、中高生なども気楽に訪れる、多目的な場所（居場所）についても必要と考えています。

イメージに近いもの、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）



Q9 憩い・交流の場として飲食（カフェ）スペースを考えています。

必要と考える項目を以下より2つ選んでください。（必須）



【中高生向けアンケート】

「中高生の居場所」アンケート

今治市役所ネウボラ政策課

今治市では、“子どもが真ん中”の視点で、新たな子育て支援のアクションプラン「今治版ネウボラ」を策定し、今年度から各種施策を推進しているところです。

◎ネウボラとは

フィンランド語で「アドバイスの場所、相談の場所」という意味。(neuvola)

フィンランドでは、かかりつけ保健師を中心に、妊娠期から就学前までの子どもがいるすべての家庭を切れ目なくサポートしており、そうした支援制度や支援拠点のことを指します。

日本でも多くの自治体がこの考え方を取り入れており、各家庭に担当保健師が付き、母子だけでなく父親など家族全体への継続支援で信頼関係を築いていくのが特徴で、子育て世帯と行政を1本の強い「絆」結び、虐待などの問題の早期発見にも繋がる取り組みともいわれています。

将来的には、この「今治版ネウボラ」の取組のさらなる推進だけでなく、市民同士の新たな交流と地域活性化の創出を担う中核施設の整備を検討しています。

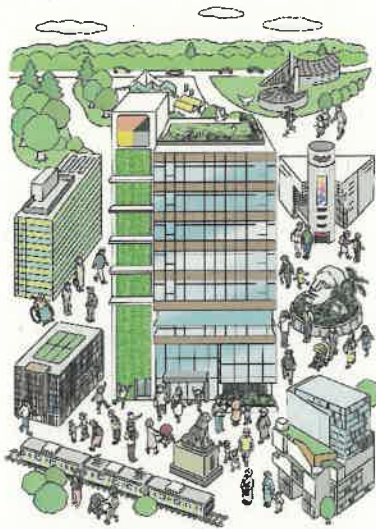


Illustration by Kohei Ashino



(施設イメージ・東京都渋谷区「CO しぶや」)

この中で、子育て世帯の親子が休憩したり、交流をするだけでなく、夕方には中学生や高校生が集まったり、自習したりできるスペース。そして飲食などもできて、趣味の活動ができるような「中高生の居場所」の機能も構想の一つとして考えています。

そこで、みなさんのことを教えてください。(⇒裏面へ)

問1 学校・学年を教えてください。

(それぞれ1つに○)

(1) 学校	1. 中学校	2. 高等学校
(2) 学年	1. 1年生	2. 2年生 3. 3年生

問2 お住まいの校区(中学校区)を教えてください。

(1つだけ○)

1. 日吉 2. 近見 3. 立花 4. 桜井 5. 南 6. 西 7. 北郷
8. 朝倉 9. 玉川 10. 大西 11. 菊間 12. 大島 13. 伯方 14. 大三島 15. 関前

問3 放課後や休日はどんな風に過ごすことが多いですか。以下のジャンルからイメージに近いものを1つ選んでください。

(放課後・休日それぞれ2つまで○)

【放課後】

1. 部活など学校活動 2. 家や塾で勉強 3. 友達としゃべったり遊んだり
4. 習い事やお稽古事 5. スマホをいじっている 6. 家でゴロゴロ
7. 外に出てブラブラ 8. 家の手伝いやアルバイト 9. 本や漫画、音楽鑑賞
10. その他 ()

【休日】

1. 部活など学校活動 2. 家や塾で勉強 3. 友達としゃべったり遊んだり
4. 習い事やお稽古事 5. スマホをいじっている 6. 家でゴロゴロ
7. 外に出てブラブラ 8. 家の手伝いやアルバイト 9. 本や漫画、音楽鑑賞
10. その他 ()

問4 「中高生の居場所」として、あなたは、放課後や休日にどのような場所・施設があれば行ってみたいと思いますか。以下のジャンルからイメージに近いものを選んでください。

(3つまで○)

1. くつろげる 2. 学べる 3. スポーツ 4. 音楽 5. 自然
6. 文化 7. デジタル 8. 交流 9. 飲食 10. その他

問5 問4で選んだジャンルから、内容を具体的に教えてください。(ジャンルごと)

<例>

- (1) 友達とゆっくりおしゃべりができて、Wi-Fi が整備された「談話コーナー」
- (2) 静かで勉強に集中できる「自習室」
- (3) 自由に遊べる「バスケットゴール」
- (4) 楽器が演奏できる音楽「スタジオ」
- (5) 自然を感じながらヨガやピラティスなどでリラックスできる「大きな芝生広場」
- (6) ピアノコンサートやダンスの発表会などができる「文化ホール」
- (7) プログラミング、動画編集や撮影ができるような「クリエイティブな空間」
- (8) 小学生に勉強を教えたり、大学生から教わったり年齢の異なる人と関われる「交流の場」。
- (9) 飲食をしながら友達とおしゃべりができる「カフェスペース」
- (10) ダンスを練習する一面が鏡の「スタジオ」
悩みを相談できるような「人・場所」

★★ 回答にご協力いただき、ありがとうございました ★★

中高生の居場所アンケート 集計 【回答数 3217】

Q1 学校・学年を選んでください。(必須)

中学1年生	795
中学2年生	819
中学3年生	857
高校1年生	392
高校2年生	162
高校3年生	192

Q2 お住まいの校区(中学校区)を選んでください。(必須)

日吉	451
近見	176
立花	468
桜井	276
南	488
西	426
北郷	310
朝倉	70
玉川	94
大西	215
菊間	95
大島	11
伯方	83
大三島	54
関前	0

Q3 放課後や休日はどんなふうに過ごすことが多いですか。
以下のジャンルからイメージに近いものを選んでください。

必須(放課後・平日それぞれ2つまで)

【放課後】

部活など学校活動	1738
家や塾で勉強	1332
友達としゃべったり遊んだり	421
習い事やお稽古事	305
スマホをいじっている	1139
家でゴロゴロ	690
外に出てブラブラ	36
家の手伝いやアルバイト	71
本や漫画、音楽鑑賞	359
その他	43

【休日】

部活など学校活動	1149
家や塾で勉強	773
友達としゃべったり遊んだり	848
習い事やお稽古事	238
スマホをいじっている	1273
家でゴロゴロ	1064
外に出てブラブラ	261
家の手伝いやアルバイト	66
本や漫画、音楽鑑賞	421
その他	74

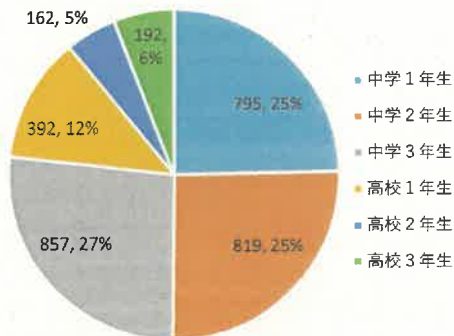
Q4 「中高生の居場所」として、あなたは、放課後や休日にどのような場所・施設があれば☑
行ってみたいと思いますか。

ジャンルからイメージに近いものを選び、内容を具体的に教えてください。必須(3つまで)

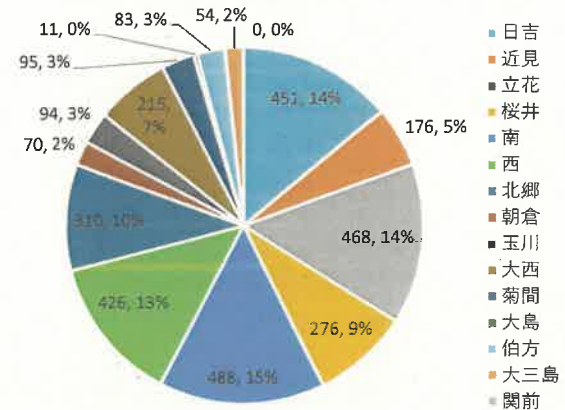
くつろげる	1978
学べる	938
スポーツ	1728
音楽	789
自然	590
文化	157
デジタル	218
交流	239
飲食	1093
その他	289

中高生の居場所アンケート 集計 【回答数 3217】

Q1 学校・学年を選んでください。(必須)☑



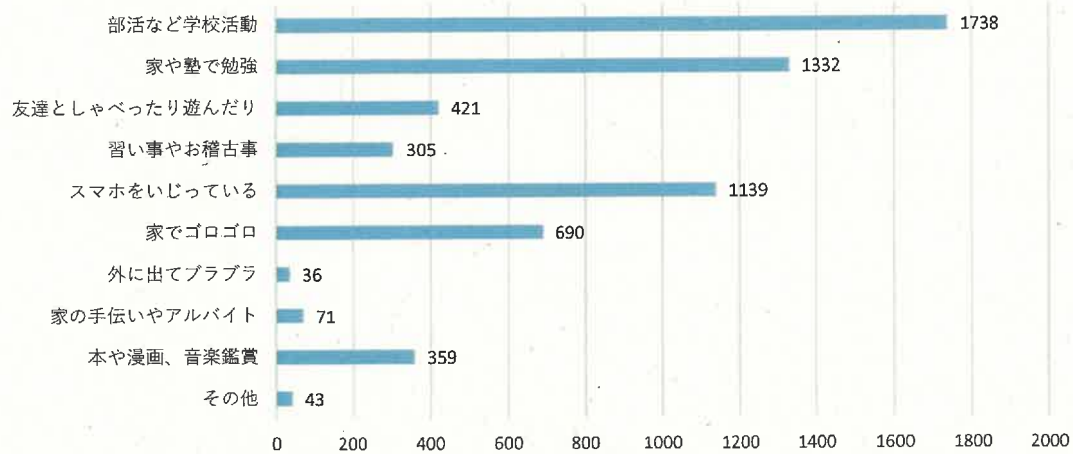
Q2 お住まいの校区（中学校区）を選んでください。(必須)



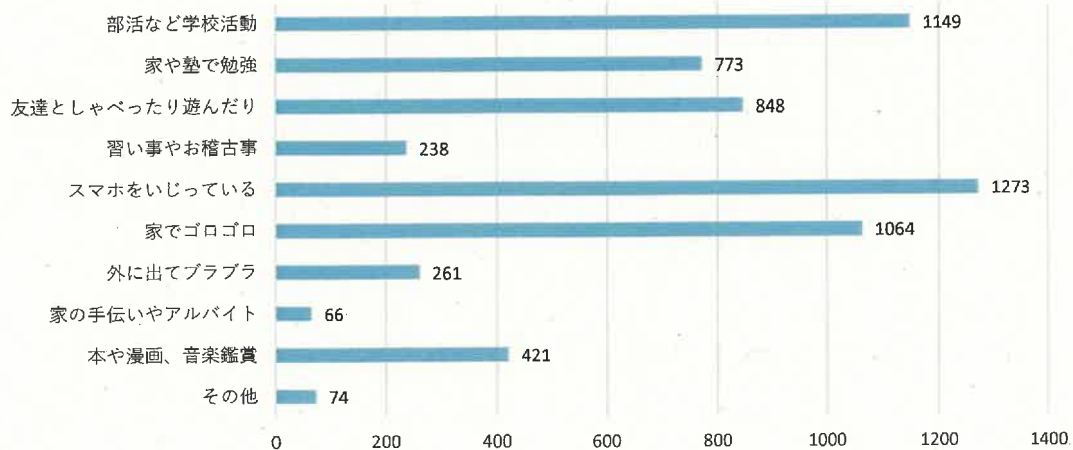
Q3 放課後や休日はどんなふうに過ごすことが多いですか。☑ ☑

以下のジャンルからイメージに近いものを選んでください。必須(2つまで)

【放課後】



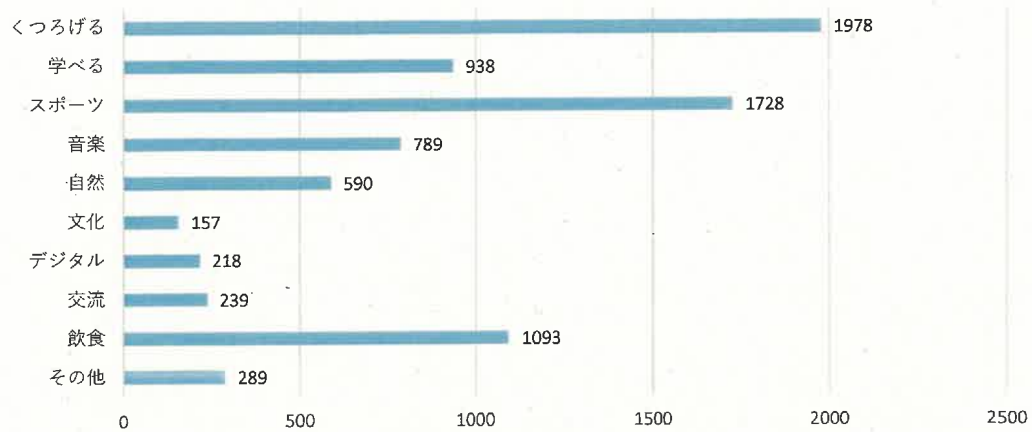
【休日】



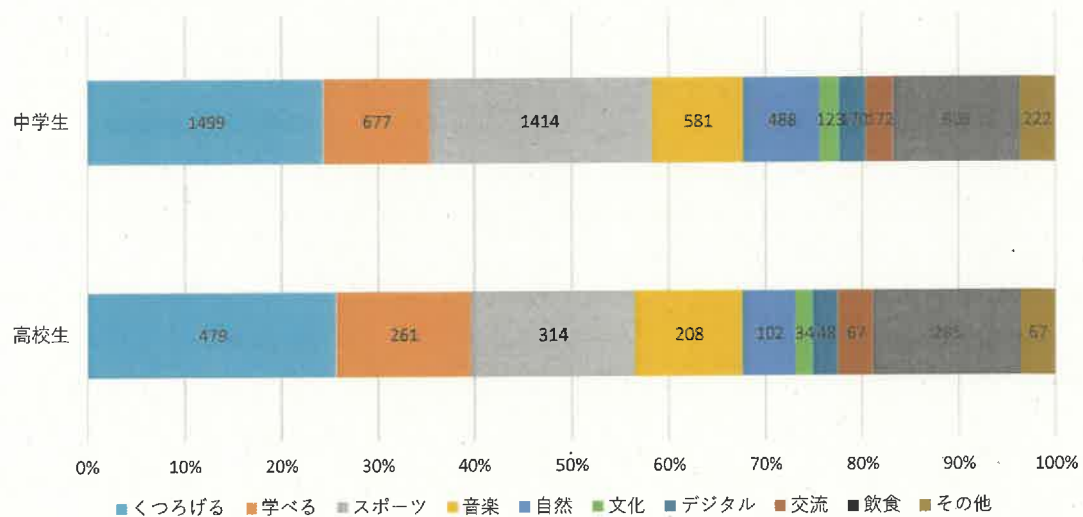
Q4 「中高生の居場所」として、☑

放課後や休日にどのような場所・施設があれば行ってみたいと思いますか。

ジャンルからイメージに近いものを選び、内容を具体的に教えてください。必須(3つまで)

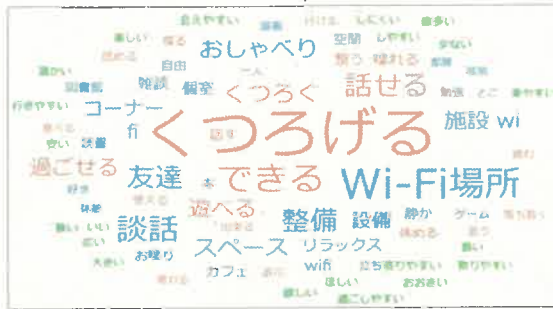


Q4 中学生・高校生別傾向図

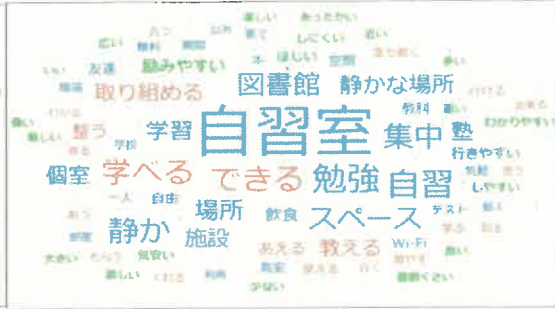


Q4 ジャンルごとの具体的な内容 (テキストマイニング)

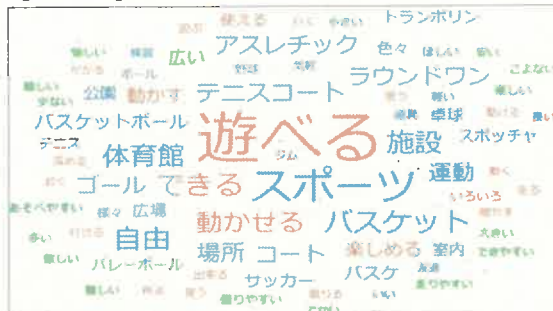
【くつろげる】



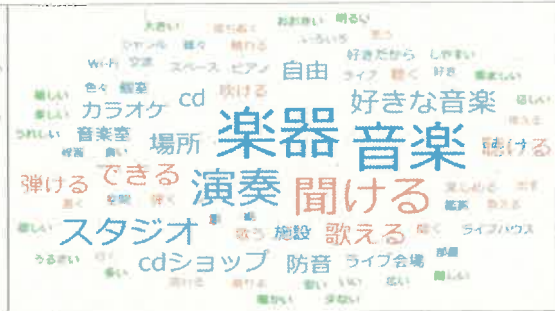
【学べる】



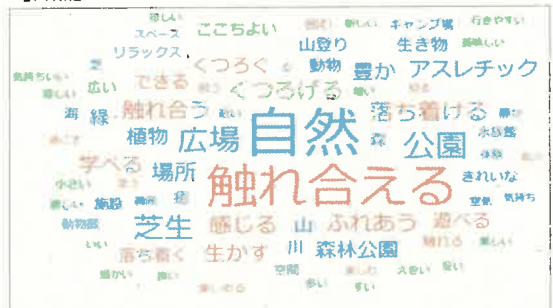
【スポーツ】



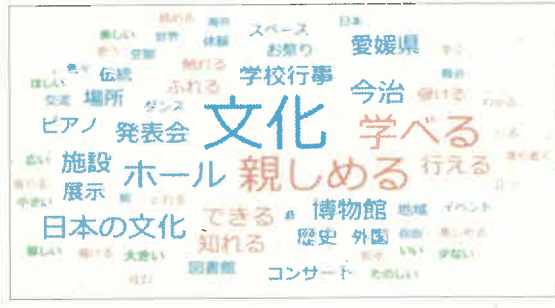
【音楽】



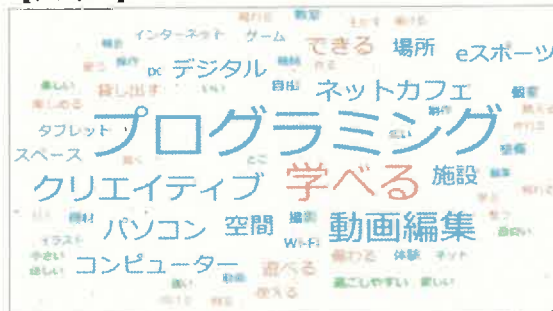
【自然】



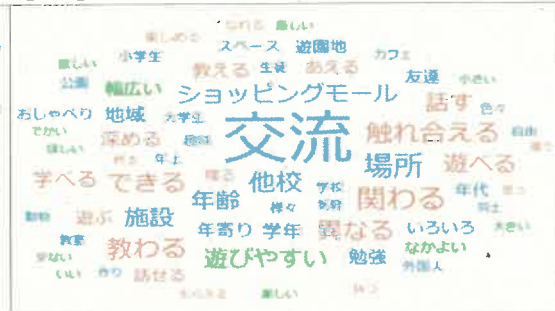
【文化】



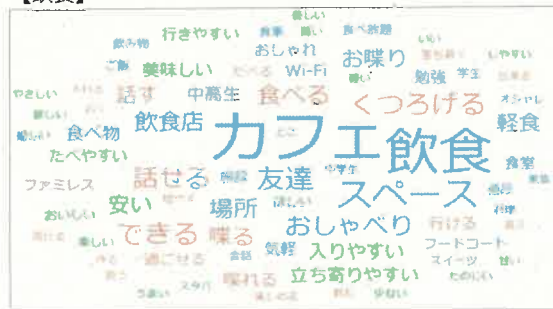
【デジタル】



【交流】



【飲食】



【その他】

